



# 『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

【今号は紙面の都合上、前文を省略し  
9月議会の質問を掲載しました。】

## 遠慮近憂(えんりよきんゆう)・屋下(おくか)に屋(おく)を架(か)ける

【遠慮近憂】◇目先の安楽に慣れて遠い将来のことを考えなければ、必ず急な心配事に悩むものである、という教え。

・「遠慮」は遠い将来まで見通した深い考えのことで、日本語としての「遠慮」とは意味が異なる。

【屋下に屋を架ける】◇無駄で余計なことをするたとえ。

・屋根の下に屋根をつくっても意味のないことから。

### ①各種審議会等への出席報酬について

少し面倒な名前ですが「非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する規則」という規則があります。これは、同じ名前でも最後の「規則」が「条例」となっている条例の規定に基づき制定され、その第2条には付属機関の委員として、都市計画審議会委員や社会福祉審議会委員、社会教育委員や建築審査会委員等、延べ42の委員会名が掲げられています。第3条には、委員の報酬の額等が書かれています。



外にもまだ多くの委員会があり、報酬の額が決められています。

各審議会や委員会の委員には、議員がいたり、学識経験者や公募による方、市民の代表等がおられます。特別な場合を除き、大体「日額9800円」となっています。「日額」とは、一日の報酬と理解しますが、ほとんどの会議は2時間が目安となっており、一日中拘束されることはありません。

会議に出席するには、交通費や時間も費やしますから、多少はやむを得ませんが、9800円は高過ぎるような気がします。ある議員から「たった10分の会議で9800円貰っちゃった」と聞いたこともあります。

私が特に問題にしたいのは、船橋市介護認定審査会委員や障害者介護給付費等認定審査会委員には、なんと日額27,500円の報酬となっています。

現在、高齢者や障害者の介護現場からは、大変な仕事の割に低賃金で離職者が絶えない等の苦悩が訴えられています。介護現場で働く方と審議会委員の報酬を比較すると、如何に



条例や規則で定められているとはいえ、「月とスッポン」程の開きがあるのではないかと指摘だけしました。現在の経済状況をもても、行政は『遠慮なければ近憂あり』ではないでしょうか。12月議会で改めて質問することにしました。



## ②地域福祉関連団体連絡協議会(以下福団連協という)は必要か

地域で福祉活動を実践する様々な団体があります。その中でも、地区社会福祉協議会や民生児童委員連絡協議会、そして地区町会連合会等が大きな団体です。

地域福祉をさらに充実させようと、平成12年度に、それまで地域福祉を担ってきた「小域福祉圏ネットワーク」を、市社会福祉協議会の下部組織に位置付けた「地区社会福祉協議会(以下地区社協という)」の名称で、市内23地区に移行設立した経緯があります。

船橋市地域福祉計画では「地区社協を中心とした福祉関連団体のネットワーク化と連絡会の設置を行う」とし、「地区社協には理事会と評議員会があるが、これらは地区社協の運営について議論する場であり、地域の福祉課題を協議する機能は持ち合わせていない。従って協議する場として福団連協が必要なのである」となっています。



しかし、小域福祉圏ネットワークから地区社協へ移行する際に、市社会福祉協議会が作成した「規約モデル」があり、その目的欄には「本会は、この地区内の住民が相互協力して地域の社会福祉の増進を図ることを目的とする」となっており、福団連協の目的とほとんど合致しています。

また、別表では地区社協を構成して欲しいメンバーとして、民生児童委員会・町会自治会・青少年相談員・PTA・病院等の団体一覧が載っており、これも福団連協の構成団体イメージとほとんど同じです。

他の団体と比較して、金銭的に恵まれている地区社協そのものが内容的にもっと充実すれば、敢えて同じような目的の協議会を設立する必要は全くない。これを『屋下に屋を架す』『屋上屋』と言うがどうか、と質問しました。



### — 福祉サービス部長の答弁 —

地区社協の構成メンバーは別表の団体に所属している人を、理事・評議員として選出していて、福団連協のそれは、各福祉団体の代表が参加しているもので、実際は異なっていると考えます。

地区社協は、地域住民が潜在的な地域の福祉課題について検討・協議し活動している。福団連協は、福祉団体が地域の福祉課題を共有しながら、それぞれの団体が主体となり役割を担い連携し協議する場であり、必要と考えます。

言葉でごまかして欲しくありません。現実、現場からも私の意見に同感だ、との声が多いのです。無駄を無くし効率よくしましょうよ。